

1学期も余すところ2週間ほどとなりました。来週には、3年生は2泊3日の修学旅行、1、2年生は1泊2日の宿泊学習を計画しています。さて、本校では、5月から6月にかけて、町内外から外部講師を招いての学習会をいくつか行いました。今号では、そのことについて紹介します。

手話学習会・福祉体験

1年生を対象に、5月27日に手話学習会を、6月16日には福祉体験学習を行いました。

本町では、県内初の取組として「手話言語条例」が制定されています。これは、「手話を一つの言語として当たり前に暮らす生活を目指すための決まり」であり、「聞こえる人も聞こえない人も不便が少ない社会にすること」や「自由に手話が使え環境を理解すること」を目的としています。学習会では、町福祉支援係の担当者から、条例の目的などの説明を受けた後、実際に手話を使って生活している一瀬いと子さんの講話、その後、簡単なあいさつなどの手話について学び、終わりには伝言ゲームを行い、参加者全員で交流を深めました。生徒からは、「聞こえない人の気持ちで考えることができた勉強になった」「手話活動を自分も広げていきたい」など、前向きな頼もしい感想も聞かれ実りある学習会となりました。



福祉体験学習では、認知症サポート養成講座と高齢者疑似体験・車椅子体験を

行いました。手話学習会と同様に、相手の立場にたって考えることができた貴重な経験をすることができました。1年生は、これらの学習を基に、今後福祉施設訪問を行い、高齢者との触れあいを通して、社会福祉についての理解をさらに深めていくことを期待しています。



平和学習会

6月22日、広島よりお招きした被爆体験伝承者である岸田英里さんから、被爆者から直接受け継いだ被爆体験や平和への想いについてお話をうかがう学習会を行いました。生徒たちは、事前に配られた資料を読むなどして事前学習を行っていましたが、実際に岸田さんの気持ちのこもった語りを聞くにつれ、あらためて平和について考えさせられた時間となりました。生徒からは「今、普通に生活していることに感謝したい」「今も地球上で戦争が行われているが早く終わって欲しい」等の感想が出されたほか「今回学習したことを人に伝えていきたい」と、自らも平和を創っていくことに意欲を持った感想も聞かれました。



講師の岸田さんからは「とても真剣に聞いてもらいうれしかった」「感想発表も自分の言葉でしっかりと述べてくれて良かった」との言葉もいただきました。

これからの社会の変化が激しい時代を生きていく生徒たちにとって「平和」は「健康」と同じくらい大切なことだと思います。今後も様々な機会を通して、平和については考えていきたいと思っています。